

日本中央競馬会様 東京競馬場 放送設備システム

音声処理部の主要装置部分に高性能かつ 可用性の高いPLC、DSPを採用した放送設備システムを導入



東京競馬場

ご導入の背景

日本中央競馬会（JRA）東京競馬場は、東京都府中市にある世界最大級の競馬場で、日本ダービー、天皇賞（秋）、ジャパンカップなど伝統ある大レースが行われ、多いときには 15 万人が来場します。また競馬を楽しむだけでなく、家族連れの憩いの場として親しまれています。

この度、デジタルシグナルプロセッサ（DSP）をはじめとする、放送設備制御部の更新を行いました。最初の導入よりすでに 12 年が経過しており、機器の老朽化と修理の際に使用する補修パーツの生産が完了したことから、従来から使用している DSP 修理対応が難しくなり今回の改修に至りました。

本改修にて導入されたシステムは、制御部および音声処理部の主要装置部分であり、高性能かつ可用性の高い PLC（制御機器）、DSP を採用し、改修対象外の従来の機器と連動して稼働するよう構築されました。

主な特徴

東京競馬場で使用されている放送設備の用途は、

1. レース実況、ファンファーレ、着順案内といった競馬運用の放送
2. 各種案内、お知らせなどの場内アナウンスやイベント音声
3. 災害発生時に火災報知機と連動し避難誘導を行う非常放送となっています。



東京競馬場 放送室

そのため、下記の点がご導入のポイントとなりました。

【機器の信頼性・パフォーマンスの向上】

- ・音声処理部は、1 台で音量・音質など様々な調整が可能な DSP を採用。
- ・制御部は運用耐久性の高い FA 用制御ユニット（PLC）を採用し、安定稼働を支える。
- ・制御部および音声処理部は現用系・予備系の 2 重化構成とし、運用を止めない仕組みを構築。

【運用状況の見える化】

- ・運用状況や故障情報を表示する状態表示パネルを設置し、日々の放送点検や、障害発生時の原因切り分けを容易にした。

【現状の運用に合ったシステムへの改善】

東京競馬場で使用する放送音声は場内だけでなく、全国の競馬場やウインズ（場外勝馬投票券発売所）に配信されます。平成 14 年の当初導入から、イベントなどの様々な放送設備に関わるコンテンツが増える中、放送設備における DSP は改修されず、全国に配信する必要がある音声と不要な音声の制御がしにくい等、対応に苦労されていました。今回の改修を通して、音声の取捨選択を容易にただだけでなく、個別で音量・音質の調整を可能にし、変化した運用コンテンツに柔軟に対応できるようになりました。



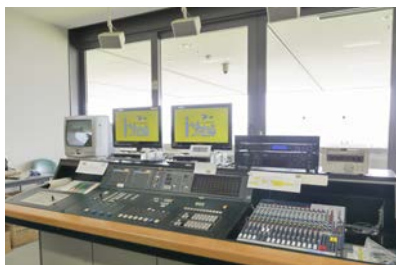
状態監視画面



運用履歴画面



左二つのラックが改修対象のDSP制御架



制御卓（改修対象外）



レピーター（改修対象外）

主な納入機器

DSP x 2式		
・ 制御部		2台
・ 状態表示パネル		2台
・ 設定用PC	CF-SX4EMHCS	1台
・ 電源制御ユニット	WU-L62	2台

お問い合わせは

パナソニック
システムお客様ご相談センター

0120-878-410 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

パナソニック システムネットワークス株式会社 システムソリューションズジャパンカンパニー 〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目21番1号 汐留浜離宮ビル

- 製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。
- 製品の定格およびデザインは予告なく変更する場合があります。
- 本カタログ掲載商品の価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。
- 実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。

SSJ-JJ4D601-5

発行：2016.7